



川治いの公園にて

編集後記 From Editor

教育改革の議論が盛んである。過去にも何回か議論されているが、確かに最近では、より一層その必要度、緊急度が増していると感じさせられることが多い。学力低下、学級崩壊、いじめ、規範意識の低下等々、全て解決が急がれる問題点ばかりである。加えて、青少年による信じられないような犯罪やいじめを苦にした自殺などが次々と報じられ、まさに喫緊の課題である。

何故このような問題が起こるようになったのだろうか？ 昔の子供たちの学校生活、家庭生活とどこが違うのだろうか？ などと考えることがある。ゆとり教育への取り組みのために、学力が低下しているというのには理解はできる。しかし、学力低下以外の問題は何か原因なのだろうか？ 先生が多忙になったとか、先生自身の質についても問題視されているが、先生がいじめに加担したり、見て見ぬふりをするといった論外な事例は別として、規範意識の低下や犯罪の増加と先生の多忙さや質とそんなに大きな関係があるのだろうか？ 自分の子供の頃を思い起こしてみても、規範意

識等、普通の授業以外のことを特設学校で教えられた記憶はない。親に叱られた記憶がほとんどである。

このように考えていくと、過去においてもそうであったが、教育改革を議論する時、その対策の視点が、学校や先生に偏りすぎているという気がする。確かに学力低下等は、何よりも学校や先生に関係しており、大いに改革は必要であろう。しかし、例えば規範意識の欠如や犯罪の増加という問題は、むしろ家庭や地域社会の役割の方が大きいのではないかと。昨秋から設置されている教育再生会議でも、家庭や地域社会による教育の重要性について指摘されている。大切なのは、その重要性や役割を謳うだけに止まらず、学校や教師の改革と同様に、具体的な対策内容まで提示されることだと思ふ。価値観や家庭のあり方の多様化により、昔のような役割を家庭や地域に求めることは無理で、学校がその役割も担う必要があるとの議論もある。しかし、全てを学校に任せるのは無理であり、家庭や地域も大きな役割を果たすべきであろう。教育問題とは少し異なるが、今号の特集で取り上げたエネルギー・環境の教育なども、学校、家庭、地域が三位一体で取り組む課題の一例だと思う。学校で知識を得た子供たちが、生活の中で行動に移し、家庭や地域が模範を示しつつそれを指導するといった仕組みが必要であろう。

家庭（親）の側の意識改革も大切である。学校改革、教師改革に頼るのではなく、自分たちの役割を十分認識することが必要である。自分たちが主体的に教育すべきことは何か？ 自分たちには何が欠けているのか？ を考え、実行することが必要だろう。また、子供を教育することのみを考えるのではなく、親の背中を見て育つという言葉にあるように、自分自身の言動を振り返ることも大切ではないか。環境教育などはその良い例である。筆者自身も、大いに反省させられる。

結局、教育改革とは、親（大人）や地域も含めた社会全体で決すべき課題であり、それゆえ学校改革、教師改革に止まらず、多面的な視点に基づく対策が必要であると思う。——橋本佳也

表紙写真 [上] 多様なエネルギー利用を実践する「再生エコハウス」(CEL研究主幹、濱恵介自宅)の外観(奈良市) [下] 大阪ガスの姫路ガスエネルギー館で昔の火おこしを体験
裏表紙写真 [左上] 児童・生徒を対象にした大阪ガスのエネルギー環境教育の授業風景(枚方市) [右上] 姫路ガスエネルギー館でガスの炎を使った熱気球の原理を体験
[左下] 企業が実施するエネルギーに関する授業で風力発電について学習する子どもたち(西宮市) [右下] 自然エネルギー利用の街灯設備を備えた児童公園(芦屋市)

CEL 79号 特集 ■ 多様なエネルギーで豊かな暮らし

発行●平成19年1月31日 頒価1,000円(送料290円)

■発行 大阪ガス エネルギー・文化研究所
〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2

■発行人 真名子敦司 *Atsushi Manago*

■編集人 橋本佳也 *Yosbinari Hasimoto* / 弘本由香里 *Yukari Hiromoto*

編集●関西ビジネスインフォメーション(株)内 CEL編集室
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18

住友中之島ビル7F TEL.06-4803-2307

印刷・製本●日本写真印刷株式会社

RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURE, ENERGY & LIFE © 2007 OSAKA GAS CO.,LTD

禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも小社の見解を表すものではありません。

本誌・バックナンバーのコンテンツや当研究所の活動内容はインターネットホームページ [http://www.osakagas.co.jp/cel/] でご覧いただけます。

本誌に関するお問い合わせ、ならびにご購読申し込みや送付先変更等のご連絡は CEL編集室 Tel.06-4803-2307 Fax.06-4803-2210 cel@kbicom.net まで